

いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、
水稻主要害虫を同時に防除！

大黒様と米づくり

箱処理はこれで決める。

高密度播種
対応

WCS用稲
にも使えます※

殺虫殺菌剤

ブイゲット® パディート® 粒剤

イナゴ類防除に



葉いもち



白葉枯病



もみ枯細菌病



イネミズウムシ



イネドロオウムシ



ニカメイチュウ



フタオビコヤガ



イナゴ類

※「稲発酵粗飼料生産・給与技術
マニュアル」に記載



NICHINO
日本農薬株式会社

powered by

CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT

® ブイゲットは日本農薬(株)の登録商標、
CYAZYPYR®、パディート®は、FMC Corporationまたは
その米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標

殺虫殺菌剤

ブイゲット パディート 粒剤

有効成分

シアントラニプロール…0.75% 殺虫剤分類 28

チアジニル…12.0% 殺菌剤分類 P3

安全性

普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)



特長

- 育苗箱処理でいもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、および水稻主要害虫(イネミズゾウムシ、イネドロオイムシなど)を同時防除できます。
- ブイゲットは、稲をいもち病、細菌病にかかり難くする作用性(病害防除機能の増強)を有し、安定した効果を示します。また、耐性菌出現リスクが低く、既存薬剤の耐性菌にも有効です。
- パディートはニカメイチュウのようなチョウ目害虫に対して、高い効果と優れた効果持続性を発揮します。また、既存剤に対して抵抗性の発達したイネミズゾウムシやイネドロオイムシに対しても高い防除効果を発揮します。

2022年7月適用拡大

適用病害虫および使用方法

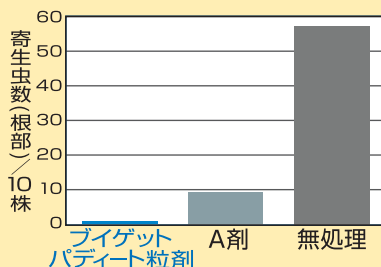
〈2022年7月現在の登録内容〉

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイ、イネヒメハモグリバエ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、イナゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g 高密度には種する 場合は1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g	緑化期 ～ 移植当日	1回	本剤の 所定量を 育苗箱の 上から 均一に 散布する	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布は 2回以内)
	イネツトムシ、ヒメトビウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前 ～ 移植当日				
稲	いもち病、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ	1kg/10a	移植時		側条施用		3回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
直播水稻	いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ		は種時		は種同時 施薬機を用いて 土中施用する		3回以内 (は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)

試験成績

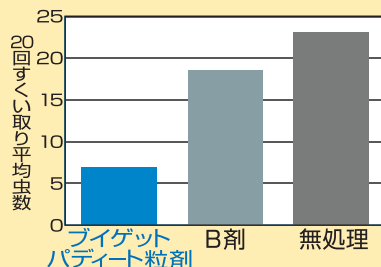
イネミズゾウムシ

宮城県植物防疫協会(2013年)
品 種: ひとめぼれ
移 植: 5/12
処 理: 5/12
調 査: 6/29(移植48日後)
発生状況: 少発生(放虫)
(無処理区の
根拠寄生虫数 58)



イナゴ類

日本農業株式会社総合研究所(2015年)
品 種: キヌヒカリ
移 植: 5/14
処 理: 5/14
調 査: 7/10(移植57日後)
発生状況: 少発生
(無処理区の20回
すくい取り
平均虫数 23.0)



- 正しく安全にお使い
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植してください。
 - 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布してください。
 - 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
 - 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、葉害を生じるおそれがありますので注意してください。
 - 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
 - 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じるおそれがありますので、代かきはいねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
 - きく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
 - 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。

●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/

2023年6月作成版(SPA)DB12306S